

愛高組新聞

JTU RENTAI

発行所 〒460-0017 名古屋市中区松原二丁目10-3 愛知社会文化センター内

愛知公立高等学校教職員組合

<http://www.ne.jp/asahi/jtu/aikoso2/>

TEL 052-684-4312

FAX 052-684-4314

rentai@aqua.ocn.ne.jp



URL(新)



e-mail



愛宕神社 (愛知県・清須市)

一般会計総額3兆2224億円

2026年度、愛知県当初予算案

愛知県は2月9日、一般会計3兆2224億円（対前年度9・6%増）の26年度当初予算案を発表しました。

景気動向と財政状況

県の分析は、次のとおりです。

① 現在の我が国の景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業にみられるものの、緩やかに回復している。

② 先行きについては、雇用・所得環境の改善が、緩やかな回復を支えることが期待されるが、今後の物価動向や米国の通商政策の動向などの景気を下押しするリスクがある。また、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

③ 歳出では、アジア・アジアパラ競技大会の開催に必要な経費を計上するほか、賃金・物価・金利の上昇の影響から、人件費、公債費等の義務的経費を中心に事業費が大きく増加する。

④ 歳入では、賃上げの影響から個人県民税を中心に収入が増加するほか、地方特例交付

金が措置され、地方交付税も大きく増加するなど、一般財源が増加するが、26年度当初予算の編成にあたっては、依然として多額の収支不足が見込まれた。

予算編成

基本的な考え方を次のように述べています。

① 25年度において県債を最大限に活用することにより、基金残高を回復させ、26年度に再度基金を取崩して収支不足を解消した。

② 引き続き厳しい財政状況ではあるが、アジア・アジアパラを起爆剤として、ビッグプロジェクトを前進させ、愛知を勢い盛んに成長・発展させるための予算編成を行った。

教育委員会所管分

教育委員会所管分の予算は、約5485億円（対前年度11・7%増）となっています。

項別の前年度比較は、総務費5・5%減、小学校費8・9%増、中学校費11・4%増、高等学校費11・6%増、特別支援学

校費18・4%増、生涯学習費14・7%減、保健体育費3180%増（アジア・アジアパラ競技大会関連）です。

教育委員会予算の主要事項

① 小1から中1までの35人学級を中2まで拡大及び小学校の教科担任制の推進
② 県立学校の魅力化・特色化と再編の推進
③ ICT活用の推進体制強化
④ 児童生徒の心のサポート体制の充実
⑤ 教員の働き方の実現
⑥ 県立学校の教育環境の整備
⑦ 学校教育に係る保護者負担の軽減
⑧ 特別支援教育の充実
⑨ 外国人児童生徒への学習・就労支援

瀬戸高校を

総合学科（全日・昼定）と普通科（通信制）のフレキシブルハイスクールに改編するために教室の模様替え（26年度設計）

杏和高校の

総合学科に工業系列を追加するために実習棟を整備（26年度設計）

稲沢緑風館高校の

新棟建設工事（26年9月供用

開始）

国際バカロレア導入校

津島・時習館・西尾の3校を対象にワークショップ参加、教員派遣研修、入学者選抜事務を実施

不登校・外国ルーツの生徒へ

日進高・附属中、衣台高、夜間中学で学習支援アプリを導入
高校及び特別支援高等部でBYODへの移行に伴い、低所得世帯等に端末購入費を支援

特別教室等への空調整備
・ PTA整備教室は来年度から公費負担
・ 未整備室は29年度までの4年間でリース方式による整備（来年度は13校707室）

防犯力メラ

全ての附属中及び高校に28年度までの3年間で設置（来年度は附属中9校と高校36校）

高校無償化

所得制限を廃し、公立高校（専攻科を除く）及び公立専修学校の全生徒を対象に授業料相当分の支援金を支給

給食費無償化

公立小学校（児童1人あたり月5200円）と特別支援学校小学部（児童1人あたり月6200円）を基準に補助

2026年度 予算定数

1 教職員定数 ()は、25年度の予算定数

区 分		全 日 制	定 時 制	通 信 制	合 計
校 長・教 頭 教 諭	法 県	7,102 (7,093)	364 (358)	71 (65)	7,537 (7,516)
	計	17 (24)	4 (4)	4 (8)	25 (36)
	計	7,119 (7,117)	368 (362)	75 (73)	7,562 (7,552)
養 護 教 諭	法 県	223 (226)	26 (26)	()	249 (252)
	計	1 (1)	6 (6)	()	7 (7)
	計	224 (227)	32 (32)	()	256 (259)
実 習 教 員	法 県	510 (510)	22 (22)	()	532 (532)
事 務 職 員	法 県	512 (510)	34 (34)	10 (10)	556 (554)
	計	11 (11)	()	()	11 (11)
	計	523 (521)	34 (34)	10 (10)	567 (565)
用 務 員	法 県	25 (31)	3 (4)	(1)	28 (36)
栄 養 士	法 県	()	6 (6)	()	6 (6)
調 理 員	法 県	()	2 (4)	()	2 (4)
船 員	法 県	15 (15)	()	()	15 (15)
合 計	法 県	8,347 (8,339)	446 (440)	81 (75)	8,874 (8,854)
	計	69 (82)	21 (24)	4 (9)	94 (115)
	計	8,416 (8,421)	467 (464)	85 (84)	8,968 (8,969)

上記表の詳しい説明

★ 全日制 ▲25学級、定時制 +4学級 計 ▲21学級

募 集 全日制 ▲6学級 合計 ▲6学級

学年進行 全日制 ▲19学級、定時制 +4学級 合計 ▲15学級

・教職員定数の増減 ▲1人

学級増減等に伴う定数増減 ▲15、単県定数見直し ▲21、初任研等の減 ▲41、短時間再任用希望者減に伴う増 +76

★ 非常勤講師時間等(専任換算分)

★ 再任用(短時間勤務者 専任換算分)

		26年度	25年度			26年度	25年度
全日制	非常勤崩し分	237	(237)	教諭	57	(127)	人
	充指導主事分	23	(23)	養護教諭	1	(1)	人
	嘱託員(事務)	50	(57)	実習教員	9	(15)	人
	嘱託員(用務)	262	(256)	調理員	()	()	人
	計	572	(573)	計	67	(143)	人
定時制	非常勤崩し分	30	(30)				
	嘱託員(事務)	1	(1)				
	嘱託員(用務)	25	(24)	★ 再任用(フルタイム勤務者)は、定数内で整理。			
	嘱託員(調理)	()	()				
計	56	(55)					
通信制	非常勤養護員	3	(3)				
	嘱託員(事務)	1	(1)				
	嘱託員(用務)	6	(5)				
計	10	(9)					
合 計	638	(637)					

2 第5次及び第6次改善分による各学校への教員定数加配の詳細

事由	2026年度	2027年度
1 習熟度別学級編制に伴う教員加配 (第6次改善分)	15～17学級 12人	15～17学級 12人
2 養護教諭複数配置(第6次改善分)	21～29学級 64人 指導重点校 3人	21～29学級 68人 指導重点校 3人
3 総合学教科の充実	154人	155人
4 進路指導充実のための非常勤講師時間 (普通科6H、職業科及び普職併置9H) (第5次改善分)	104H	104H
5 生徒指導担当教員加配(第5次改善分)	71人	69人
〔全日制〕	18～20学級 43人 27～30学級 19人	18～20学級 39人 27～30学級 21人
〔定時制〕	12学級以上 3人	12学級以上 3人
〔通信制〕	1校1人 6人	1校1人 6人
6 生徒支援加配(第5次改善分)	49人	49人
7 新学習指導要領への対応(第5次改善分)	146人	146人
ア 外国語等の少人数指導対応教員	82人	82人
イ 普通科職業系コース制開設校加配	7人	7人
ウ 課題研究等の指導対応教員	33人	33人
エ 国際、外国語関係学科	17人	17人
オ 多様な教科・科目の開設	7人	7人
8 通級指導担当教員配置(H31～)	7人	7人
9 養護教諭複数配置(第5次改善分)	30学級以上 3人	30学級以上 3人
10 養護教諭複数配置(第5次改善転用分)	重点指導校 6校	重点指導校 6校
11 生徒指導充実(カウンセラー 単県)	57校× 12H	57校× 12H
12 複数教頭配置加配(単県) (職業科18学級以上、重点指導校)	38校× 12H	37校× 12H

3 非常勤講師時間

区分	26年度	積算内訳	25年度	積算内訳	増減	備考
生徒指導充実(カウンセラー)	684 H	12H×57人	684 H	12H×57人	H	
進路指導充実のための非常勤講師時間	104 H	52H×2人	104 H	52H×2人	H	
習熟度別対応分	832 H	52H×16人	936 H	52H×18人	▲ 104 H	
新教科情報対応分	5,564 H	52H×107人	5,564 H	52H×107人	H	
複数教頭配置対応分	456 H	12H×38人	444 H	12H×37人	12 H	
妊娠女子体育教員の負担軽減	60 H		60 H		H	
単位制修業年限・弾力化非常勤講師時間	104 H	52H×2人	104 H	52H×2人	H	
実験実習加配(調整用)	1,703 H		1,703 H		H	
その他(帰国子女対応、研究指定等)	520 H		520 H		H	
中学開設準備等	H		251 H		▲ 251 H	
国際バカロレア導入準備等	318 H		H		318 H	
計	10,345 H		10,370 H		▲ 25 H	

12月と1月の給与明細を

照合してみましよう！

県人事委員会の給与改定勧告により、4月から12月に支払われた月例給与とボーナスの差額が昨年未だ支給されました。そして、先月から改定給料表による賃金が支給され、給与明細に改定額が反映されています。そこで、12月と1月の給与明細を照合してみましよう。

給料は
給料表の改定分と合わせて、教職調整額が4%から5%に引き上げられたことにより再任用短時間勤務者でも6千円を超えるアップとなっています。

地域手当

支給割合(8・5%)は変わっていませんが、給料に連動するので、これもアップします。

教員特別手当

これについては増えた人と減った人がいます。

① 減った原因は、教職調整額の1%アップと今年1月に『学級担任手当』が新設されたことによる歳出増を抑制するために「義務教育等教員特別手当」の従来の支給額を三分の二に減じたからです。したがって、正担任でない人は、この額が減っています。

② 一方、正担任の人も「義務教育等教員特別手当」は減額されていますが、月額3千円の『学級担任手当』を加算した額が教員特別手当の額となるので増えています。

支給区分	支給年月	所属	職員番号
例月	給与	07.12	64
格付	給料表	支払科目	税表
57	58-02-000	010904001	甲欄
		自	00
		配	13
		扶	0
		特扶	0
給料	地域手当	通勤手当	管理職員特別勤務手当
148,243	12,600	8,160	
時間外勤務手当等基礎額1	扶養手当	住居手当	特地勤務手当
		28,000	
時間外勤務手当等基礎額2	管理職手当	特殊勤務手当	へき地手当
期末手当等基礎額	単身赴任手当	教員特別手当	産業教育手当
		1,895	
勤勉手当基礎額	初任給調整手当	農林漁業普及手当	定時制通信教育手当
短期掛金	互助会掛金	共済貸付返済金	所得税
			(-31,694)
介護掛金	財形貯蓄	互助会貸付返済金	所得税還付金
			31,694
厚生年金・退職等年金掛金		財形貸付返済金	住民税
			16,600 (16,600)

支給区分	支給年月	所属	職員番号
例月	給与	08.01	64
格付	給料表	支払科目	税表
57	58-02-000	010904001	甲欄
		自	00
		配	13
		扶	0
		特扶	0
給料	地域手当	通勤手当	管理職員特別勤務手当
154,908	13,167	8,160	
時間外勤務手当等基礎額1	扶養手当	住居手当	特地勤務手当
		28,000	
時間外勤務手当等基礎額2	管理職手当	特殊勤務手当	へき地手当
期末手当等基礎額	単身赴任手当	教員特別手当	産業教育手当
		1,297	
勤勉手当基礎額	初任給調整手当	農林漁業普及手当	定時制通信教育手当
短期掛金	互助会掛金	共済貸付返済金	所得税
			4,250 (4,250)
介護掛金	財形貯蓄	互助会貸付返済金	所得税還付金
厚生年金・退職等年金掛金		財形貸付返済金	住民税
			16,600 (16,600)

きと本気
スクウェア A.Y



軍事大国へ暴走する 高市連立政権を止めよう！

講師：飯島滋明さん
名古屋学院大学教授

2月28日(土) 13:30~16:00
日本特殊陶業市民会館3F

戦争をさせない1000人委員会あいち

れ ん ら く

東日本大震災発生から早や14年経ちました。東電福島第一原子力発電所はレベル7という最高レベルに危険な深刻な事態に至り、廃炉作業が行われているものの、先は見通せない模様です。しかし、原発再稼働や新設の動きも出ています。

愛高組は、被災地の一日も早い復興と被災された方々の安心を心よりお祈りします。

赤ペン 564

いよいよ今春、高校授業料の無償化が始まり、その影響が注目されている。特に大都市部では私学人気が一層拍車がかかるのではないかとこの見方がされている。ここ近年、生徒ばかりでなく、教職員の人材確保という点でも公私格差が現れつつある。実際に公立教員採用試験の合格者で、私学での採用を理由に辞退するといった例も出ては考えられなかった例も出ているが、講師などの臨時教員では従来から待遇面で大きな差が生じている。とりわけ非常勤

◎ これからのおもな運動の日程

- 2/18(水) 非常勤の休暇の一部改正交渉
- 2/19(木) あいち平和フォーラム 26 総会
- 2/27(金) 26 年度愛高組役員選挙立候補締
- 2/28(土) 「戦争をさせない 1000 人委員会あいち」講演会
- 3/ 4(水) 25 年度第 2 回高校代表者会議
- 3/ 7(土) 3.7 さよなら原発全国集会
- 3/14(土) 26 年度愛高組役員選挙投票

講師については会計年度任用職員となつてからはその差が顕著となつている。また採用のあり方にも問題がある。私学では年度によつて生徒数の増減があるにもかかわらず、早ければ12月中旬に講師の採用(継続)内定を行う学校もあるのに対して、公立校では人事異動に合わせるのが一般的であり、このため多くは定年退職者が占めることとなっている。ところが大量退職の世代はピークを過ぎており、近い将来人材枯渇のおそれがあり、早急な改善が求められる。(H)

遺珠点点 94

とても寒い日が続く。この文が人の目に触れる頃には寒さも和らいで世の中は春なのだろう。外のはれがつかぬ。この頃、文章を書く心動がいつこうに湧かない。組合の機関紙の隅に毎度駄文を提供するのは、申しわけない気持ちだ。衆議院議員選挙があり、イタリアではオリンピックが始まった。新聞もテレビもその関連の報道が続く。運動嫌いの私はオリンピックに興味が無い。選挙は自民党の大勝で、何をか言わんや。こんなふうにつれづれを託っていると、家の横の道を選挙カーよろしく声をあげながら通つて行く車があった。もちろん選挙は終わつていて、何かの街宣車が通ることなどぞついでない地域である。

なんだよ、うるさいな。そう思ったなら聞かなければいいのに、道に近い台所にいると嫌でも耳に入ってくる。先だつて選挙期間中、交差点のところでどこかで私が一番目にした人の宣伝カー(選挙終わつたから選挙カーではないよね)だった。その人が喋っている。寒い日の暗くなつてからも、雪の日も傘をさして一人でのぼり旗の脇で手を振る姿をよく見た。いつだったか(選挙の公示前のことだったと思ふ)新聞で、「へえ、良いことされたね」と思つた。記事を読んだこともある。乗り合わせた列車に急病人(?)が出て、よくある「医療従事者の方はいらつしやいませんか?」の呼びかけに応じて救命救助に関わつたという小さい記事が出ていた。ほかの候補者に比べれば、私の視界にぐんと露出は多かつたし、おそらくかわいい人なんだろうなと思われたが、私はその人に票を投じていない。その人は選挙区で次点だった。だが、比例で復活して議席を得た。その人に投票しなかったのは、所属政党が嫌いだったからである。ある意味、絶対多数を得た党や「右」丸出しの党よりも気色悪うと思う。私にとつては、この「気色悪」といふのはかなり明確な判断の基なのだ。人への好感度というのには基準にならない。だって、どの候補者も、知り合ひでも何でもない人なのだから。宣伝カーの人は、これ

からしつかり働いて行くとか、生活を良くするためにガンバルとか、そういうことを言つていた。選挙終わつてからも、ご苦労さんだな、と思つたその拍子に、次の言葉が耳に入つて愕然とした。「わたしは、自分の国は自分で守ります」まったく声の調子は変わらなかつた。「生活...」と言ふのと同じ口調で、この人は言つた。守るといふことは、いろいろな場合が想定できる。しかし、「国を守る」といふのは恐ろしい。世界中どこを見たら、歴史上の何時を見たら、「国」は「人」を守らない。国を守るとは戦争を否定しないということか。戦争に行く人を確保するために、徴兵制を辞さないということか。私は、この国に行く末に身震いを覚える。と同時に、わが日教組が掲げた「教え子を再び戦場に送るな」の一言を、大げさではなから言わなくてはならないのだと思つた。

